JAPAN TEACHERS' UNION ―教え子を再び戦場に送るな―

JTU ほっきゅう NO. 4

2023. 6. 5 北九州市教職員組合にゅうす

「2023 年度春闘期の要求書」㊐交渉スタート！①

５月 19 日北九州市教組は、教育長、教育次長、教職員部長、課長出席のもと「春闘交渉（JTU ほっきゅう no.3 参照）」を行いました。「春闘交渉」は賃金交渉のイメージが強いと思いますが、今回は、北九州市人事委員会勧告が触れている、教職員の超勤実態を中心に㊐意見を述べてきました。(市教組は、これまでも北九州市人事委員会会見で教職員の超勤実態について強く訴えています!)

交渉内容（一部）

(2)権限移譲にかかわる諸課題について

○学校事務職員と職員について、同じ職場で働く権利の同一性を重視し、教職員にあって学校事務職員に適応されていない権利について再検討をすること

㊐教員には結婚休暇が６か月の猶予があるが、事務職員は５日間しかない。また、産休の余った分を産後に足せないなど、権利の格差を是正していただきたい。

(3)教育予算について

○ゆとりある教育の展望が持てる予算を編成すること

・「学校事務補助員」を全校配置すること

㊐現在、児童・生徒数３００人以下の学校の事務補助の撤退がされている。（４年計画中、３年目）学校の規模を問わず「学校行事」は同じようにあり、学校事務補助員は必要不可欠である。事務補助員を未配置にすることは、当然業務過多で時間外勤務も増えるが、精神的にも１人で経理をしていることへの不安感がとても強い。ミスや不祥事をなくしていくためにも、経理担当の事務職員は複数必要である。「学校事務補助員」の全校配置を再検討してほしい。

> **市教組**は人事委員会に登録した『職員団体』で、**当局と交渉することができる団体**です。組合員のみなさん一人ひとりの存在が**全ての労働者の幸福**につながっているのです！

・教員不足解消の策を具体的に講ずること

㊐現在、全国的に「教員不足」が問題となっている。一つのアイデアとして、４月当初に「教育センター」等に教員を確保しておき、定数欠が生じた学校に派遣するなど具体的措置を講じていただきたい。

○中学校の 35 人学級を早期に実現すること

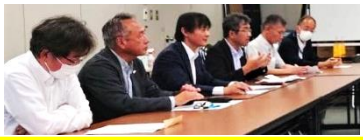
㊐福岡市はすでに、中学校の３５人学級を取り入れている。北九州市も将来的に中学校の３５人学級の実現を考えていただきたい。

○1 学期中に産育休暇を取得する職員が在籍する学校には、4月当初より産休代替講師を対象校のすべてに配置すること　（一昨年より市教組が要求し、勝ち取った権利である）

㊐予算の許す限り配置していると聞いている。配置されていない学校もあり基準が明確にされていない状態であると認識している。対象校すべてに配置をお願いしたい。

○ICT教員等の加配を全校配置すること

㊐ICT を活用し学習効果を高めたいのであれば、月に２回程度の ICT 教員の来校では各学校の課題は勤務時間内には解決できない。各学校で工夫をして何とかしのいでいる状態にある需要の高い ICT 教員を全校配置していただきたい。



次号に続きます

わからないこと・困ったことがあったら…　何でも気軽にお問い合わせください！

///JTU 北九州市教職員組合　〒802－0072　小倉北区東篠崎３丁目4－1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp　北九州教育会館　TEL（093）953－0381